

ダイサギ（サギ科） 全長88～98センチ

よく見かける白いサギには、ダイサギ、チュウサギ、コサギの3種がいます。どれも白くて風貌が似ているうえに雌雄同色であるため、野鳥に興味のない人には全く区別されていません。みんなひっくるめてシラサギと呼んでいる。しかし鳥見人としては、どの種か区別しなければなりません。

ここ神宮寺の雄物川河川敷にあるサギのコロニーは、今年もアオサギ、ゴイサギ、ダイサギが集団で繁殖しているが、その数およそ50以上。

5月上旬、最初に現れたのがアオサギであった。その後ダイサギが加わり、最後やってきたのがゴイサギでした。この順番は毎年変わりありません。



繁殖期の飾り羽、レースのカーテンのよう。

十数年前、最初にコロニーをつくった時はアオサギとゴイサギだけであったが、4～5年遅れて少数のダイサギが加わった経緯があります。

ダイサギの巣は暫く2～3か所で殆ど増えなかったが、今年は10か所以上も確認されている。なぜ急激に増えたのだろうか。



大きく育った雛。首を長くして待っている。



4羽の雛が見える。

8月3日。アオサギとゴイサギは巣立ちを終え、巣の中は空っぽとなった。

今、コロニーで頑張っているのはダイサギだけである。大きく育ったダイサギのヒナたち。巣に戻る親を見つけると、一斉に羽を広げて餌をねだった。何と賑やかな事。こうした華やかな光景も間もなくで終わりを迎えます。



羽をばたかせながら餌をねだる。



どれが親か子か分かりません。